

教師道場 NEWS

特別の教科道徳科特集

授業実践紹介

中学校第1学年「誠実な生き方」A(1)自主、自律、自由と責任
「何が正しく、何が誤りであるかを自ら判断し、自分の行動に責任をもち、誠実に生きようとする態度を育てる。」

【授業改善のポイント】

◇導入でのアンケートの提示



導入で本時の内容に関わる学級のアンケート結果を提示することは、学級の実態を共有するとともに、価値項目について興味・関心を高めながら学ぶ姿につながっていきます。

◇自己の考えを形成するための学習形態の工夫



悩む主人公の心情について考える場面で、個で考えた後、グループで意見を交流し、再度、個で考えるといった学習形態を工夫することで、生徒が多面的・多角的に考えることができ、道徳的諸価値の理解を深めていくことにつながります。

協議から



初めに、授業者が本時の授業について簡潔に振り返り、協議のポイントを絞り込んでいきます。その後、部員は生徒の学ぶ姿を基にしながら、協議を行っていききました。

「中心発問に対して、ねらいに沿う発言が多く出ていたのが良かったです。」

「もやもやしたって発言した生徒に対して、『もやもやするってどういうことですか。』と問い返してもよいと思いました。発言に対して頷いている生徒もいたので、そういう生徒の考えも生かしていけると考えが広がっていくのではないかと思います。」など、部員同士で協議を深めていききました。

担当教授が考える授業力向上のためのポイント

- ◆「主体的・対話的な学び」については、対話、討論、議論などの学習活動を通して、①児童・生徒が問題意識をもち、自己を見つめ、道徳的価値を自分との関わりで捉え、自己の生き方について考える授業を行うこと、②自ら道徳性を養い、自らを振り返って成長を実感、今後の課題や目標を見付けるよう促すことがポイントです。「深い学び」については、道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を考える学びを積み、今後、道徳的価値の実現に向けた問題状況を把握し、適切に判断し実践化できる資質、能力を育てるための授業を意図的に行っていくことが大切です。

【道徳科担当】